

令和元年度 学校評価一覽表

千代田町立西小学校

学校課題	目標・計画・取組			具体的数値項目	点検・評価(%)				改善策	ご意見
	目指す姿・目標	重点的な取組・方策	担当分掌 担当者		自己評価		学校関係者評価			
					児童	保護者	教職員	保護者・地域住民		
								十分満足・できている A 大体満足・大体できている B やや不十分・あまりできていない C 不十分・できていない D		
I 信頼される学校づくり	1 千西小の目指す教育の発信	○学校だよりや学年・学級だよりの内容の充実と連絡帳等を活用した情報の共有化 ○ホームページの定期的更新・充実	○教頭 各担任 情報主任	① 80%以上	81	96	91	A	・連絡帳への押印を継続してもらうとともに、便り等を活用し本校の目指す教育の在り方を伝えていく。 ・便りやHPに活動の様子がわかる写真や児童の感想等を掲載する取組を継続する。	・回覧板利用の「西小だより」の回覧やHPへのアップ等で、情報提供がなされ、保護者、地域との信頼関係が築かれている。継続し、さらなる信頼関係を構築されたい。
	2 子どもの様子を伝える態勢づくり	○連絡帳や電話等による情報の共有化 ○連絡・家庭訪問しやすさの態勢づくり	○教頭 学年主任 各担任	② 80%以上	73	93	91	A	・連絡帳等を活用し、学校での出来事を伝える取組を継続するとともに、電話等で家庭との情報交換を密にする。 ・家庭に伝わっているかどうかを児童に確認することばがけを励行する。	・保護者評価は高いが、児童の評価が低いことが気になります。児童がなぜ低いのか分析して、評価の向上を図ってほしい。
II 確かな学力の育成	3 授業改善による分かりやすい授業	○学習規律を確立しねらいや発問、板書等教材研究や実態を把握した授業実践 ○教科担任制を導入した教科指導の改善、充実	○教務主任 学力C 研修主任 各担任	③ 80%以上	86	94	94	A	・ICT等を活用し児童が興味を引くような課題やめあてを提示するとともに、その振り返りを励行する。 ・教師の専門性を活かして指導内容を充実させるとともに、わかりやすい授業を推進する。	・児童にわかりやすい導入が工夫されていると感じる。さらにその先を教師の専門性を生かして深めることが重要である。 ・校内掲示の仕上がりから、授業中の細かな配慮がうかがえる。
	4 家庭学習、読書に取り組む児童の育成	○自主勉強法の提示や自主勉強ノートの紹介及び「ちよだチャレンジウィーク」等を活用した家庭学習の充実と定着化 ○読書指導、読み聞かせ等による読書の習慣化・子どもへの指導とともに、教師の言語環境の改善、率先垂範	○教務主任 学力C 研修主任 各担任	④ 80%以上	81	92	87	A	・自主学習の仕方や手本となる自主学習ノートの紹介をしたり、その意義を伝えたりするとともに、学習量の記録等で努力量の視覚化を図ることで、意欲の向上と習慣化を促す。	・家庭での自主学習と塾や習い事による学習のバランスに配慮しながら、学習の意義が理解できるような支援をお願いしたい。 ・読み聞かせ等の様子から、児童の言語環境の整備やそれに伴う心の成長がうかがえる。
	5 英語学習への関心・意欲の向上	○特例校による1年次からの外国語活動の実施。 ○教科担任制による専門職員によるわかりやすく楽しい授業の実施	○教務主任 学力C 英語主任 各授業者	⑥ 80%以上	88	86	97	B	・校内で授業資料等の共有化を促進するとともに、特例校としての実践について、便りやHP等を活用して情報発信し、地域や保護者への理解を促す。	・英語学習の際、声に出して積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が印象的であり、特例校としての取組の成果を感じる。
III 基本的な生活習慣の育成	6 丁寧な言葉遣い、挨拶や返事ができる児童の育成	○機会、場面を捉えての指導(職員室入室等) ○「あいさつ先手」「語先後礼」を意識したあいさつ指導の継続	○生徒指導 児童会 各担任	⑥ 80%以上	88	84	100	B	・全校で「あいさつ先手」や「語先後礼」のあいさつ運動を実施し、その場に応じたあいさつや返事の仕方を繰り返し指導する。 ・あいさつに係る掲示等を校内に増やし、啓発を図る。	・朝のあいさつ運動が徹底しており、児童の気持ちよいあいさつが定着してきている。接遇等も含め、指導の充実とそれによる人格形成を促してほしい。
	7 相手の立場や気持ちを考えた適切な行動や言葉がけができる児童の育成	○朝会や道徳の時間、学校行事をとおしての道徳教育の実践 ○「西小よい子のルール」に基づく指導	○生徒指導 特活主任 道徳主任 各担任	⑥ 80%以上	86	88	100	B	・西小よい子のルールの定着と校内研修をとおして充実させた道徳教育の実践化を促進し、全校体制での道徳実践を充実させる。 ・「思いやりの木」等の人権啓発活	・校内掲示物等から道徳に対する取組やその充実が感じられる。いじめ等の原因について考えさせる機会を充実させ、思いやりの気持ち

											動を充実させ、相手の気持ちを考えた言動がとれるように指導する。	を高めてほしい。
	8 清掃活動や委員会活動等の体験活動を通して豊かな心の育成	○委員会活動・係活動における児童の活動場面の設定 ○清掃活動や奉仕活動等の体験活動の充実	○特活主任 清掃主任 生徒指導 各担任	⑦ 80%以上	94	95	100	A	・児童の主体的な活動の中で、自ら表現し啓発する場면을意図的・計画的に設定し、様々な教員がかかわることで、豊かな心を育むよう指導の充実を図る。	・児童会等の活動場面で物怖じすることなく自己表現できる児童が多い。さらに、ボランティア等の機会が設定できるとよいと思われる。		
	9 「いじめ」が起きないような温かい人間関係づくり	○心の居場所づくりと温かな学級づくり ○生徒指導委員会と教育相談部が連携した相談態勢 ○学級満足度調査の実施と活用 ○生活アンケートや日常の観察による実態把握及び「チーム西小」での学年を超えた指導	○道徳主任 人権主任 教育相談 各担任	⑧ 90%以上	88	81	100	B	・生活アンケートや日常の観察から実態把握に努め、一人一人の活躍の場や居場所づくりをする。 ・課題を全職員が共有し、チーム西小を合い言葉に学年を超えた指導を行う。	・児童の心の変化や行動など、小さなことに早期に気づき、共有し、対応している様子がかがえる。また、生徒指導における家庭との連絡も十分行われていると思われる。		
IV健康・体力づくり	10 規則正しい生活習慣が身に付く児童の育成	○学校保健員会や懇談会等と連携した啓発・推進 ○学校だより、保健だよりにおける啓発 ○ゲームの影響や睡眠の大切さ等について、実態に応じた指導の充実	○保健主事 養護教諭 各担任	⑨ 80%以上	78	87	91	B	・学級活動や保健の授業、養護教諭や栄養教諭の生活指導や食育指導を充実させ、食事や睡眠、運動など規則正しい生活の大切さを繰り返し指導する。 ・就寝時刻や朝食時刻については、家庭生活に関わる事項なので、懇談会時や通信、学校保健委員会の活動等を通して、各家庭に協力を依頼する。	・学校保健委員会に参加した際、保健委員を核とし、アンケート結果から課題を抽出し、その解決を図ろうとする学校の取組に感心しました。 ・睡眠や食事の指導は学校だけでは限界があります。家庭との連携を充実させ、生活習慣の向上をさらに図ってほしい。		
	11 外遊びの奨励による体力づくり	○体育集会、体育の授業で運動の楽しさの体験や運動量の確保 ○休み時間の確保と外遊びの奨励（クラスレク等を意図的に設定して）	○体育主任 各担任	⑩ 80%以上	84	90	91	A	・学級・学校全体で外遊びをする機会を意図的につくったり、体育委員や保健委員の啓発活動を実施したりして、運動を奨励する。	・休み時間に外で元気に遊ぶ児童の姿が印象的である。 ・健康の根幹となる体力の維持・増進に取り組んでほしい。		
V安全教育の推進	11 安全に学校生活を過ごせる指導	○「西小よい子のルール」に基づく指導の徹底 ○生徒指導委員会を中心とした積極的な生徒指導	○生徒指導 特活主任 各担任	⑪ 80%以上	89	96	94	A	・西小よい子のルールを基にして、児童に毎月のめあてを決めさせ、安全に関する意識を高める。 ・各種便りを活用して家庭に啓発する。	・安全・安心な学校づくりは必須であり、校内の安全点検の励行とその対処の徹底を図ってほしい。		
	12 安全教育や災害防止の指導の充実	○「不審者対応訓練」「防災・避難訓練」等各種訓練・教室の改善・実施並びに回避能力の育成 ○マニュアルの見直し ○学校だよりや学年・学級だよりによる啓発	○安全主任 道徳主任 各担任	⑫ 80%以上	97	94	97	A	・「不審者対応訓練」「防災・避難訓練」「親子防犯・安全教室」の在り方（予告なし訓練等）を工夫し、事前・事後指導を継続して取り組む。 ・全校体制でマニュアルの見直し、読み合わせを行う。	・校内に危険箇所のマップが掲示されているなど、防災に対する意識の高さがうかがえる。 ・教育委員会や地域の防犯、防災組織と連携し、避難訓練等の大切さに気づかせ、危機管理の徹底を図ってほしい。		
	13 地区役員と連携した交通安全指導登下校時の安全指導	○朝のPTA、ボランティアと連携した交通指導並びに地区役員と連携した通学班への指導 ○学校、学年、学級での常時指導 ○「通学班振り返りカード」を活用した校外班への指導の継続	○PTA担当 安全主任 各担任	⑬ 80%以上	97	88	94	B	・学年で下校時刻をそろえ、複数で下校できるようにしたり、登校班の指導を徹底したりする。 ・通学路点検を引き続き実施し、登下校の安全性を高める。 ・通学路の危険箇所に係る情報を全職員で共有し、児童への啓発を図る。	・交通安全に関わる各機関やPTAと連携し、交通マナーの習得や登下校の安全管理等の徹底を図ってほしい。 ・危険箇所はもちろんのこと、日ごろ安全と思われる場所にも留意してほしい。		
VI将来の夢や希望の育成	14「将来の夢や希望」を育む指導の充実	○道徳や学級活動において、生き方や夢等に視点を当てた指導。 ○学級懇談会等における保護者への啓発	○キャリア教育 主任 各担任	⑭ 80%以上	89	93	87	A	・夢カードの活用その他、道徳の授業や日記指導等を活用して、児童の思いを受け止め、励ましていく。 ・懇談会や通信等で児童の様子を家庭へ知らせ、意識を高める。	・自己肯定感を高める指導を充実させ、人生の困難に前向きに立ち向かえる児童の育成を図ってほしい。		